

令和2年度 自己評価計画書

石川県立錦城特別支援学校

(No.1)

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	最終集計結果	分析（成果と課題）	結果
<p>(1) 児童生徒の確かな学びにつながる授業改善と専門性の向上を図る。</p>	<p>① チームティーチングの事前や事後の打合せで指導のねらいや評価等の共通理解を行い、効果的な指導となるようにする。</p>	<p>チームティーチングの効果的な手法(5項目：別途提示)を4項目以上取り組んでいると答えた職員の割合 A：80%以上 B：60%以上 C：50%以上 D：50%未満</p> <p>5項目 ・事前の児童生徒の個別の目標の共通理解 ・事前の支援内容の共通理解 ・事前の評価の仕方の共通理解 ・共通理解を図った事項に注意して授業を行っている。 ・事後の評価や支援内容の反省に基づく改善策検討</p>	<p>各教員の達成度の割合 ① 5項目実施 ② 4項目実施 ③ 3項目実施 ④ 2項目実施 ⑤ 1項目実施</p> <p>(単位%) ① ② ③ ④ ⑤ ①+② 小 60.0 20.0 20.0 0 0 80 中 70.0 30.0 0 0 0 100 高 63.6 27.3 9.1 0 0 90.9 分 100 0 0 0 0 100 全体 66.0 24.0 10.0 0 0 90.0</p> <p>【達成基準】A以上 【結果】A</p>	<p>最終アンケートでは、チームティーチングを行う上での効果的な手法を4項目以上実施していると回答した教員は全体の90%で、A評価となった。課題であった「評価の共通理解」についても中間評価の実施率58.8%から70%に向上した。</p> <p>授業の打ち合わせについては、隙間の時間やメモなどの紙媒体を活用するなど工夫しながら行っている一方で、まとまった時間を取るのが難しい現状がある。来年度は時間確保のために授業打ち合わせ会を設定し、チームティーチングのより効果的な指導の充実を目指す。</p>	<p>A 達成</p>
	<p>② 専門性の向上を図り、児童生徒の特性や能力に応じた授業を展開する。</p>	<p>授業参観等で授業内容に満足している保護者や関係機関職員の割合 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p> <p>4項目 ①指導内容はわかりやすいか ②教員の児童生徒のかかわり方は適切か ③使用教材の工夫がみられるか ④落ち着いて学習できる環境か</p>	<p>達成度の割合(単位%) 授業への満足度(4項目)</p> <p>(単位%) 項目 A B C D A+B ① 81.0 16.0 3.0 0 97.0 ② 81.0 19.0 0 0 100 ③ 70.0 30.0 0 0 100 ④ 59.0 32.0 8.0 0 92.0 全体 73.0 24.3 2.7 0 97.3</p> <p>【達成基準】A以上 【結果】A+B 97.3% : A</p>	<p>今年度の学校公開及び授業参観は、新型コロナウイルス感染症対策のため人数を制限し保護者のみとした。1月には授業参観を行い、保護者アンケートを実施した。(回収率は84%)</p> <p>参観した授業についてA B C Dの4段階で評価してもらくと、4項目全てで概ね満足していると回答した保護者は92~100%を占めた。全体では97.3%となり、A評価となった。</p> <p>しかし、項目別に見ると、①②のA評価は80%を超えたが、③は70%、④では59%となった。また、項目①④では4名の保護者がC評価と回答しており、今後、授業改善していく必要がある。</p> <p>より良い授業を行うために、児童生徒の深い学びの実現に向け、継続して授業改善をしていく。</p>	<p>A 達成</p>
<p>学校関係者評価委員会の評価</p>	<p>・授業参観は、いつ来ても楽しそうでよい。コロナ禍で行事の中止・縮減や調理実習等できなかった学習内容もあったが、その分落ち着いて小集団の中で児童生徒は学習に取り組めたと思う。 ・授業改善を頑張って行ったことが、重点目標(4)の時間外勤務に影響したと考えられる。コロナ禍で多くの変更をせざるを得ない状況の中で、良い授業をするためには限られた時間の中で行うのは難しい。</p>				
<p>学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策</p>	<p>・今年度中止した行事はよく念査し、何をねらって行うか、児童生徒にどんな力をつけたいのかを考えて、来年度に生かし、行事の精選や見直しを行う。 ・新学習指導要領の改訂を受けてP D C Aサイクルで一層授業改善を行っていく。チームティーチングで行う授業については、計画から評価まで話し合えるように授業打ち合わせ会を設定する。学校研究でも学習評価や主体的・対話的で深い学びについて検討していく。</p>				

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	最終集計結果	分析（成果と課題）	
<p>(2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路支援の充実を図る。</p>	<p>① 錦城版キャリア教育プログラムを活用し、自己選択や自己決定に関するものを含め、児童生徒一人一人の目標を設定し実践する。</p>	<p>キャリア発達面の個別設定の項目で向上が見られた児童生徒の割合 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>達成度の割合(単位%) 小 100 中 93.3 高 89.3 全体 93.3  【達成基準】 B以上 【結果】 A</p>	<p>キャリア発達を育成する具体的な実践を行い、個別のねらいに対して向上が見られた児童生徒の割合は、全体で93.3% A評価となり、達成基準を満たした。 教員が1年を通しての発達を見据えた個別の設定項目や様々な活動における支援も的確であったと言える。そのため、児童生徒一人一人に対して順調に成長を促すことができたと言える。 今後は、さらに児童生徒一人一人のキャリア発達を見据え、より一層児童生徒に応じた具体的な実践を続けていく。</p>	A 達成
		<p>キャリア教育の具体的な取り組み内容に満足している保護者の割合 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>達成度の割合(単位%) 小 100 中 93.3 高 100 全体 98.3  【達成基準】 B以上 【結果】 A</p>	<p>保護者のアンケートでは、小、中、高等部ともに、満足度が非常に高く、全体の達成度は98.3%でA評価となり達成基準を満たした。 保護者にとっては、教員の取り組み内容が具体的で分かりやすく、成長段階もはっきりと読み取れたことなどで、児童生徒の「キャリア発達」が明確に感じ取れたと言える。 今後は保護者と連携を密に取り、希望する将来の姿をしっかりと把握し、取り組み内容を考え実践を続けていく。</p>	
	<p>② 進路の手引きを活用しキャリア教育や進路支援の充実を図る。</p>	<p>キャリア教育や進路情報等について、チェックシートによる一定の達成度の職員の割合 A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満  チェックシートの2項目 ①進路の手引きを基に保護者からの進路についての質問に答えられるか。 ②卒業後の福祉サービス内容に対してそれぞれ違いがわかるか。</p>	<p>達成度の割合(単位%) ① ② 平均 小 91.7 91.7 91.7 中 100 100 100 高 90.0 85.0 87.5 分訪 100 100 100 全体 93.3 91.1 92.2 A A A  【達成基準】 B以上 【結果】 A</p>	<p>項目①②のどちらとも、小、中、高等部、分教室・訪問すべてにおいてA評価となり、達成基準を満たした。 二つの項目において言えることは、教員一人一人が「進路の手引き」を中間よりもさらに熟知し、それを支援に結び付け取り組んだ結果であると言える。 今後も児童生徒の進路に必要な情報を得ながら、「進路の手引き」をさらに吟味し、内容の充実を図り、活用しやすいものに改善していく。</p>	A 達成
<p>学校関係者評価委員会の評価</p>	<p>・キャリア教育というと小学部から高等部への縦軸のイメージが強いが、家庭・地域の広がりを目指す横軸の実践を検討するとよい。 ・多くの保護者は満足していると思うが、児童生徒は学校でできることも家ではしないことがあるので、家庭と情報交換し学校と協力して家でもできるようにしてほしい。家庭からも地域への参加を働きかけることも大切である。</p>				
<p>学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策</p>	<p>・家では何ができるのか、どんな手伝いをしているのか等、家庭と情報共有し、長期休業中だけでなく家族の一員としての役割が果たせるような取り組みを検討していきたい。 ・錦城版キャリア教育プログラムや「進路の手引き」等を充実させ、保護者と協力して児童生徒のキャリア発達や生活する力、働く力が高まるように努めていく。</p>				

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	最終集計結果	分析（成果と課題）	結果																																																																																				
<p>(3) 安心・安全に関する職員の意識を高め、児童生徒への教育活動の充実を図る。</p>	<p>① マニュアルやヒヤリハット等を参考に、日常の安全管理に留意した行動をとり、事故防止や健康管理を行う。</p>	<p>具体的な行動例(自由記述1項目を含む6項目：別途提示)に照らして「A十分に実践している」5項目以上「B実践している」4項目以上6項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室、廊下等のゴミに気付く等、些細なことに心を配る。</li> <li>・教職員の目が届いていない場面がないか気を配る。</li> <li>・防火管理責任箇所の整理を行い不要物はない。</li> <li>・必要なマニュアル(個別のものを含む)を確認する。</li> <li>・授業等でのヒヤッとしたことを他の教職員と共通理解する。</li> <li>・上記以外で各自が実践していることを1つ自由記述</li> </ul>	<p>各教員の達成度の割合</p> <p>① 5項目実施 ② 4項目実施 ③ 3項目実施 ④ 2項目実施 ⑤ 1項目実施</p> <p>(単位%)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>①+②</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>76.9</td> <td>15.4</td> <td>0</td> <td>7.7</td> <td>0</td> <td>92.3</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>81.8</td> <td>9.1</td> <td>9.1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>90.9</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>95.6</td> <td>0</td> <td>4.5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>95.5</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>50.0</td> <td>25.0</td> <td>25.0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>84.0</td> <td>8.0</td> <td>6.0</td> <td>2.0</td> <td>0</td> <td>92.0</td> </tr> </table> <p>【達成基準】 A50%以上かつA+B100% 【結果】 A84.0% A+B92.0%：未達成</p>		①	②	③	④	⑤	①+②	小	76.9	15.4	0	7.7	0	92.3	中	81.8	9.1	9.1	0	0	90.9	高	95.6	0	4.5	0	0	95.5	分	50.0	25.0	25.0	0	0	75.0	全体	84.0	8.0	6.0	2.0	0	92.0	<p>5項目以上実施Aの割合は84.0%で達成基準を上回ったが、4項目以上実施A+Bの割合が92.0%と達成基準に達しなかった。中間評価のAの割合72.5%、A+Bの割合88.2%を上回り危機管理意識の向上が見られたが、C、D評価をみると、全ての部でC評価があり、目標は達成されなかった。</p> <p>項目別では、「防火管理責任箇所の整理を行い不要物がない」の項目で10名、「必要なマニュアル(個別のものを含む)を確認する」の項目で5名が実施していなかった。特に前者は中間評価と同じ11名であった。</p> <p>今後も教職員が高い意識をもって防火管理責任箇所の整理整頓、必要なマニュアルを十分に活用し、個々の児童生徒の安全に関する指導支援に取り組んでいく。</p>	<p>未達成</p>																																										
	①	②	③	④	⑤	①+②																																																																																			
小	76.9	15.4	0	7.7	0	92.3																																																																																			
中	81.8	9.1	9.1	0	0	90.9																																																																																			
高	95.6	0	4.5	0	0	95.5																																																																																			
分	50.0	25.0	25.0	0	0	75.0																																																																																			
全体	84.0	8.0	6.0	2.0	0	92.0																																																																																			
	<p>② 健康・安全・防災に関する授業や行事等での実践を行う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に対応した指導及び学校安全計画に即した指導を行っている職員の割合</p> <p>A：100% B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満</p> <p>10項目</p> <p>①長期休業にあたり生活・交通・災害に関する指導をした。</p> <p>②地震時の避難訓練にあたり、安全な避難について指導した。</p> <p>③事故報告書(ヒヤリハット報告書)を読み、事故防止のために適切な行動を理解した。</p> <p>④降雪時(積雪時)に児童生徒の安全確保のために適切に行動した。</p> <p>⑤学校安全計画に基づき授業で安全な活動について指導した。</p> <p>⑥児童生徒に消毒または手洗いをを行うように指導した。</p> <p>⑦児童生徒が密集しないように指導または環境設定した。</p> <p>⑧児童生徒が近距離で会話したり、交流(密接)したりしないように指導または環境設定した。</p> <p>⑨授業やその他の学校生活において部屋の換気を行った。または児童生徒に行うように指導した。</p> <p>⑩食事場面において指導を行った。(手洗い、しゃべらない、介助時のフェイスガード、マスクの使用)</p>	<p>達成度の割合(単位%)</p> <p>(指導課)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>平均</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>92.8</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>78.6</td> <td>85.6</td> <td>91.4</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>90.9</td> <td>100.0</td> <td>92.2</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>90.3</td> <td>90.4</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>96.1</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>95.8</td> <td>97.6</td> <td>100.0</td> <td>92.3</td> <td>96.4</td> <td>94.9</td> </tr> </table> <p>(保健課)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> <td>平均</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>78.6</td> <td>92.9</td> <td>100</td> <td>94.3</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>100</td> <td>96.5</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>99.1</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>100</td> <td>98.9</td> <td>94.7</td> <td>98.2</td> <td>100</td> <td>98.4</td> </tr> </table> <p>【達成基準】 B以上 【結果】 指導課①～⑤ 全体94.9%：B 保健課⑥～⑩ 全体98.4%：B</p>		①	②	③	④	⑤	平均	小	92.8	100.0	100.0	78.6	85.6	91.4	中	100.0	100.0	100.0	90.9	100.0	92.2	高	90.3	90.4	100.0	100.0	100.0	96.1	分	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	全体	95.8	97.6	100.0	92.3	96.4	94.9		⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	平均	小	100	100	78.6	92.9	100	94.3	中	100	100	100	100	100	100	高	100	96.5	100	100	100	99.1	分	100	100	100	100	100	100	全体	100	98.9	94.7	98.2	100	98.4	<p>(指導課)</p> <p>ほとんどの項目でB評価以上になった。項目①②⑤については継続した内容であり、いずれも中間評価の結果よりも大きく前進している。中間評価の『成果と課題』を受けて、各部での改善がなされた結果だと考えられる。80%以下の項目は④の小学部のみであり、降雪時の対応に課題が残った。最終評価で取り上げなかった講習会や訓練等についても、中間評価以上の結果になるよう次年度に引き継いでいく。</p> <p>(保健課)</p> <p>ほとんどの項目でB評価以上になった。80%以下の項目は、中間評価と同じく小学部の項目⑧のみであった。小学部においては、指導や支援の際、児童と密接にならざるを得ない場面が多く、教員の努力が反映されにくい状況である。</p> <p>小学部、高等部においては、100%の項目が増えた。特に、中学部と分教室では5項目全てにおいて100%となった。12月以降、県内でも新型コロナウイルスの感染者が増え、より身近に感じられるようになったこともあり、教員間での予防意識が高まったと考えられる。</p> <p>今後は、「児童生徒が自ら予防する行動」へと結び付けていきたい。</p>	<p>B 達成</p>
	①	②	③	④	⑤	平均																																																																																			
小	92.8	100.0	100.0	78.6	85.6	91.4																																																																																			
中	100.0	100.0	100.0	90.9	100.0	92.2																																																																																			
高	90.3	90.4	100.0	100.0	100.0	96.1																																																																																			
分	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																																																																																			
全体	95.8	97.6	100.0	92.3	96.4	94.9																																																																																			
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	平均																																																																																			
小	100	100	78.6	92.9	100	94.3																																																																																			
中	100	100	100	100	100	100																																																																																			
高	100	96.5	100	100	100	99.1																																																																																			
分	100	100	100	100	100	100																																																																																			
全体	100	98.9	94.7	98.2	100	98.4																																																																																			

<p>学校関係者評価委員会の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、マスクができなかった児童生徒ができるようになった事例が紹介されておりよかった。</li> <li>・例年冬場に流行するインフルエンザや感染性胃腸炎等の罹患がほとんどなく、健康に過ごすことができたのは、マスク着用、手洗い・消毒の徹底であると考えられる。</li> <li>・本校の立地条件からは津波や土砂災害よりも雪害や火災等への対応が危機管理としては高いと考えられる。防火管理責任者がきちんと持ち場を管理する、山火事への対応にはプールや受水槽に貯めた水を使用する、降雪時の適切な対応やスクールバスの安全な運行等に努めてほしい。</li> </ul>
<p>学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクの指導は今後も継続して行うが、難しい場合は顔に密着しないようなインナーマスク等の使用やマスクの形の工夫も考えられる。また、一人一人に応じて段階を踏んで指導をしていく。</li> <li>・降雪時のスクールバスの運行については、保護者の協力を得て、安全に児童生徒が乗降できるようにバス停の変更も含め、柔軟に対応した。今年度末にはバス停の見直しを行い、来年度は新しいバス停も入れて運行計画を立てている。</li> <li>・今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を危機管理マニュアルに追加したり、本校独自のレベル対応指針を作成し消毒体制を整えたりしてきたが、今後も自然災害やその他の災害にも対応できるように危機管理マニュアルの見直し・検討を行っていく。</li> </ul>

石川県立錦城特別支援学校 (No.4)

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	最終集計結果	分析 (成果と課題)	結果																																										
<p>(4) 教職員が業務の効率化に向け、校内の諸会議の運営改善を進める。</p>	<p>① 諸会議等に関して、業務の効率化を図るため工夫を行う。</p>	<p>具体的な行動例(自由記述の1項目を含む5項目：別途提示)に照らして、「A十分に実践している」5項目 「B実践している」4項目</p> <p>5項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議資料は前日までに配付する。</li> <li>・配付資料に目を通して会議に臨む。</li> <li>・提案や説明の際に「何分間程度」等決めて臨む。</li> <li>・会議時間を短くするように意識している。</li> <li>・上記以外で各自が実践していることを1つ自由記述</li> </ul>	<p>各教員の達成度の割合</p> <p>① 5項目実施 ② 4項目実施 ③ 3項目実施 ④ 2項目実施 ⑤ 1項目実施</p> <p>(単位%)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>①+②</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>7.1</td> <td>35.7</td> <td>35.7</td> <td>14.3</td> <td>0</td> <td>42.8</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>9.1</td> <td>27.2</td> <td>45.5</td> <td>18.2</td> <td>0</td> <td>36.3</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>4.8</td> <td>33.3</td> <td>28.6</td> <td>23.8</td> <td>9.5</td> <td>38.1</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>33.3</td> <td>33.3</td> <td>33.3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>66.6</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>13.6</td> <td>32.4</td> <td>35.8</td> <td>14.1</td> <td>2.4</td> <td>46.0</td> </tr> </table> <p>【達成基準】 A 50%以上かつA+B 100% 【結果】 A 13.6% A+B 46.0%：未達成</p> <p>※勤務時間調査結果の分析も加味して評価する。</p>		①	②	③	④	⑤	①+②	小	7.1	35.7	35.7	14.3	0	42.8	中	9.1	27.2	45.5	18.2	0	36.3	高	4.8	33.3	28.6	23.8	9.5	38.1	分	33.3	33.3	33.3	0	0	66.6	全体	13.6	32.4	35.8	14.1	2.4	46.0	<p>5項目を実施したと答えた教員はどの学部も増えたが、A評価は13.6%にとどまった。4項目実施のB評価については、小学部が中間評価よりも高くなり、その他の部はやや減少した。小学部は1項目しか実施できなかったと回答した教員も減少し、部全体での取り組みが推進された。全体で見ると、会議の効率化を図るため、4項目以上を実践した教員は46%と中間評価よりも微増したが、半数を下回る結果となった。</p> <p>項目別に見ると、会議資料を前日までに配付し、資料には目を通して会議に臨み、会議時間を短くするよう意識していると答えた教員が多い。しかし、提案や説明の際に時間を決めて臨んだり、要点を絞って端的に説明したりすることがまだ課題がある。</p> <p>勤務時間調査では、10月以降も時間外勤務が増えており、コロナ禍で学校行事・授業の変更や準備等に時間を要している。1月の時間外勤務は昨年度と変わりなかったが、2月は増加した。今後も会議の効率化だけでなく、業務の平準化と効率化を進めるための手立てを講じていきたい。</p>	<p>未達成</p>
	①	②	③	④	⑤	①+②																																									
小	7.1	35.7	35.7	14.3	0	42.8																																									
中	9.1	27.2	45.5	18.2	0	36.3																																									
高	4.8	33.3	28.6	23.8	9.5	38.1																																									
分	33.3	33.3	33.3	0	0	66.6																																									
全体	13.6	32.4	35.8	14.1	2.4	46.0																																									
<p>学校関係者評価委員会の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の効率化と言われるが、コロナ禍で話し合う内容が増えたと思う。限られた会議時間の中では十分に話し合えなかったと考えられ、更に個々に応じた教育を行うことを考えると勤務時間外が増えたのは仕方がないと思う。</li> <li>・教材や授業の準備をしなければいけない上に、教員は話したいことがたくさんあると思うが、今何を大事にして優先しなければいけないかを精選していく必要がある。教員間で共通認識をして、取り組みをするとよい。</li> </ul>																																														
<p>学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の効率化を図るのは、生徒理解や授業準備の充実、改善のためである。半数近くの教員が効率化のために4項目以上を実施しているため、会議資料の前日配付や資料に目を通して臨む等、来年度も継続して実施していく。</li> <li>・業務の平準化に際しては、なるべく複数の教員で仕事分担をするなどし、各部での係決めや役割分担時に負担が集中しないような工夫が必要である。改善のための方策を教員からアンケートを取り、改善に生かしていく。</li> </ul>																																														